

# 令和元年度 筑前町社会福祉協議会事業報告

## ■ 総括的概要

社会福祉法人筑前町社会福祉協議会（以下、「社協」という。）は、地域が抱えている様々な福祉問題を地域全体の問題ととらえ、中核的な機関として地域福祉の推進を行ってきました。公的サービスや他の支援策では解決できない生活課題を地域全体で支援する仕組みづくりに取り組んでいます。

また、近年頻発している大雨による災害被害を、町内の社会福祉法人とともに社協が中心となり積極的に支援を行いました。2月中旬以降、新型コロナウイルスの感染が広がり、その対応を行政と連携し感染拡大防止のために一部事業を縮小しました。それとは反対に、事業の拡大を迫られた事業については、関係機関と連携を密に行い感染防止の対策を取りながら対応を行いました。

行政からの様々な委託事業、赤い羽根共同募金配分金事業のほか、生活困窮者に対する事業を、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりのために役職員一丸となって努めています。

## 1. 法人運営

### (1) 役員会等の開催

名 称	期 日	内 容
監査	5月17日（金）	・平成30年度決算監査
第1回理事会	5月27日（月）	・会長の職務執行状況報告 ・再雇用制度事務取扱要綱承認 ・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・役員候補者の推薦 ・平成30年度事業報告の承認 ・平成30年度収支計算書及び貸借対照表並びに財産目録の承認 ・監査報告 ・定時評議員会の招集
第1回評議員選任・解任委員会	6月7日（金）	・評議員の選任
第1回評議員会	6月14日（金）	・評議員の就任

第2回理事会	6月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員の選任</li> <li>・ 平成30年度事業報告の承認</li> <li>・ 平成30年度収支計算書及び貸借対照表並びに財産目録の承認</li> <li>・ 監査報告</li> <li>・ 会長、副会長の選任</li> <li>・ 選任解任委員の選任</li> </ul>
第3回理事会	8月23日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長の職務執行状況</li> <li>・ 専決事項の報告</li> <li>・ 令和元年度敬老の日お祝い事業</li> </ul>
監査 第4回理事会	12月13日(金) 3月17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度半期監査</li> <li>・ 令和元年度第1次補正予算の承認</li> <li>・ 令和2年度事業計画の承認</li> <li>・ 令和2年度予算の承認</li> <li>・ 評議員会の招集</li> </ul>
第2回評議員会	3月25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉活動計画設置要綱の承認</li> <li>・ 令和元年度第1次補正予算の承認</li> <li>・ 令和2年度事業計画の承認</li> <li>・ 令和2年度予算の承認</li> </ul>

## (2) 組織運営及び機能強化

### ① 財務運営管理

適正な財務管理に努めています。

### ② 個人情報保護法への対応

個人情報の守秘義務の認識及び漏えい防止を厳守しています。

## (3) 役職員の資質の向上

役員及び職員の研修体制確立及び各種研修会へ積極的な参加も努めました。

総務・総合相談

朝倉地区障害者等自立支援協議会	6月25日(火)
日常生活自立支援事業	
・ 専門員研修	6月25日(火)・1月17日(金)
・ 業務支援システム説明会	8月29日(木)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別会議</li> <li>・契約締結審査会</li> <li>・支援員研修</li> </ul>	12月17日(火) 11月28日(木)・1月24日(金) 2月18日(火)
障害者相談支援事業集団指導	7月1日(月)
共生型通所介護事業所運営推進会議	7月18日(木)・2月27日(木)
認知症地域医療連携協議会	2月25日(火)
朝倉地区障害者自立支援協議会 子ども支援部会研修	6月21日(金)・11月29日(金)
福岡県障害支援区分認定調査員研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者向け</li> <li>・現任者向け</li> </ul>	6月28日(金) 11月21日(木)
福岡県相談支援従事者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修</li> <li>・現任者研修</li> </ul>	7月2日(火)・7月4日(木) 9月3日(火)・9月4日(水) 10月8日(火) 11月6日(水)・11月19日(火) 11月20日(水)
人権啓発研修会	2月13日(木)
自立支援協議会担当者会議	2月21日(金)
精神障がい者地域支援会議	9月11日(水)
精神障がい者地域移行支援連絡会	11月28日(木)・1月29日(水)
アルコール・薬物等関連問題研究協議会	10月2日(水)

地域福祉

社協地域活動職員連絡会総会、研修会等	5月31日(金)・6月28日(金) 9月13日(金)～9月14日(土) 2月12日(水)
両筑地区社協連絡会 地域福祉活動部会	4月10日(水)・5月24日(金) 7月29日(月)・9月20日(金) 12月12日(木)・3月4日(水)
福祉教育担当意見交換会・セミナー	8月28日(水)
ふくおかライフレスキュー事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人トップセミナー2019</li> <li>・フォローアップ研修</li> </ul>	9月9日(月) 1月29日(水)
地域福祉計画策定研修会	2月5日(水)

災害ボランティアセンター運営研修	10月26日（土）
災害時における他機関連携セミナー	1月27日（月）
県内公設NPO・ボランティアセンター 連絡会及び研修会	5月27日（月）・11月25日（月） 2月17日（月）
両筑地区ボランティア担当者意見交換会	6月28日（金）・11月22日（金）

#### （４）事務局体制の整備

事務局機能の効率化と総合力を高め、企画・立案、事業運営能力向上に努めました。

社会福祉法人経営者セミナー	6月10日（月）
市町村社協管理職員研修	7月5日（金）
社協会長、事務局長会	9月6日（金）
両筑地区社協連絡会 ・会長、事務局長会 ・全体研修会 ・労務管理研修	7月25日（木）・10月18日（金） 1月11日（土） 1月23日（木）
朝倉地区企業同和問題講演会	7月11日（木）
事業主人権問題研修会	10月29日（木）
福岡県社会福祉大会	10月30日（木）

#### （５）地域福祉活動計画の策定

町の第3次地域福祉計画との一体作成のための各種会議をおこないました。  
次年度も継続して各種会議、各種団体等の意見をいただきながら完成を目指します。

地域福祉活動プロジェクト会議	計6回
地域福祉活動計画策定戦略会議	計9回
町（福祉課）との担当者会議	計5回

#### （６）広報活動の推進（広報・ホームページ）

社協の事業を広く町民に情報発信し、福祉事業への理解と支援を得られるように努めました。

##### ① 広報誌発行

「ちくぜん社協だより」・「声の社協だより」年4回（5月、8月、10月、1月）

- ② 町発行の「広報ちくぜん」による広報・情報提供を行いました。
- ③ ホームページに福祉情報を掲載しました。

## 2. 社会福祉事業

### (1) 独自事業

#### ① 心配ごと相談事業

日常的に住民が抱える悩みや困りごとなどを相談する窓口として開設し、相談員が助言を行います。また、無料弁護士相談や専門的に相談できる機関を紹介し問題解決の手助けを行いました。

#### ア) 心配ごと相談

- ・毎月第1、第3金曜日に相談日開設

相談員 行政相談委員 2人 調停相談員 2人 人権擁護委員 7人  
 民生児童委員 4人 母子相談員 1人

相談実績 26件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	3	5	3	0	7	1	3	0	1	2	1	0

※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

#### 相談内容事項ごとの解決状況

相談内容事項	相談 件数	解決内容			
		解決	再来	他機関	その他
生 計	3			3	
生 業・職 業	2			2	
住 宅	2			2	
家 族	3	1			2
離 婚	3			3	
財 産	7	3	1	3	
心身障害者（児）福祉	2	1		1	
その他（災害後の家族の生活、不安の解消等）	4	1		2	1
合 計	26	6	1	16	3

#### イ) 相談員研修

- ・令和2年1月31日（金）「成年後見制度について」

## (2) 受託事業

### ① ふれあいいきいきサロン事業

住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、地域のみんなが支え合い、共に元気で楽しく心を通わせる場となるサロン事業を推進しました。

- ・実施地区 37 地区
- ・実施回数 356 回
- ・参加者数 6,244 人

(3月には新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛)

#### ア) サロン代表者会議

各区のサロンが円滑に実施できるように3回実施しました。

4月19日(金) 48人参加	サロン保険、出前講座、野外活動など 年間行事予定について・助成金交付
9月11日(水) 50人参加	合同交流会について 人生100年時代のサロンの役割について
2月12日(水) 63人参加	今年度報告、次年度計画について 地域支えあいのすすめ(朝日西区の取り組み)

#### イ) 合同交流会

地域が一つとなり、参加者同士のつながりを深め幅広い交流を持つことを目的に12月に開催しました。

開催日 2日(月) 5日(木) 9日(月) 12日(木)

会場 下高場公民館

参加地区数 32地区

総参加者数 644人

#### ウ) 各サロンの取り組み

各サロンの自主性を尊重し各地域で実施する取り組みを支援しました。

- ・小学生との交流 6区 参加小学生 67人
- ・野外活動 29区
- ・町の出前講座 45回
- ・その他の出前講座 27回
- ・その他の取り組み 16回(グランドゴルフ・カラオケ・園児交流等)

② 在宅高齢者等配食サービス事業

昼食・夕食をコスモスプラザで調理し、安否を確認しながら配達しています。

配食サービス上半期利用食数

(単位：食)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	61人	59人	53人	52人	50人	49人	
昼食	443	358	289	316	322	303	
夕食	1,154	1,172	1,072	1,019	924	946	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用者数	46人	48人	50人	49人	49人	45人	食数計
昼食	310	261	269	244	242	258	3,615
夕食	930	898	900	879	879	899	11,672
							15,287

③ 敬老館運営事業

家に閉じこもりがちな高齢者が交流を通して健康維持、生きがいをづくりとして集う場を提供しています。

(単位 上段：日、下段：人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	25	27	26	25	20	25	27	26	23	23	25	2	274
来館者数	718	800	755	664	475	604	648	607	644	610	706	55	7,286

- ・カラオケ利用状況 53組
- ・麻雀教室始まる (7名参加 毎月第2、第4木曜日開催)
- ・ラジオ体操 (毎日14時15分から)
- ・イベント開催

5月	ヤクルト健康教室	11月	健康講座
6月	ビデオ鑑賞	12月	クリスマス会
7月	ヤクルト健康教室	1月	「くまけんサポーター」
8月	避難所開設のため中止	2月	高山泌尿器科クリニック
9月	ヤクルト健康教室	3月	3/4～3/31 新型コロナウイルス感染拡大防止のため 休館
10月	「レクリエーション用具で遊ぼう」		

④ 敬老館食堂事業

敬老館利用者等に安全でおいしい食事を提供し、地産地消にこころがけコスト削減に取り組んでいます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	(単位：円)
400,450	408,440	403,260	422,600	299,700	401,970	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
423,370	420,680	367,890	361,490	374,380	31,150	4,315,380

\* 3月4日から3月31日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

⑤ 放課後児童健全育成事業

小学生を対象に、放課後こどもが帰宅しても就労等のため保護者が不在等の家庭に代わって保育を行いました。

ア) 安全第一での運営を推進するため「安全管理マニュアル」に則した運営に努めました。

イ) 統括支援員が随時学童保育に入れる仕組みづくりを構築し、より支援員との連携に努めました。

ウ) 3学童とも最大受入児童数を超えたため、みわっ子 SUN<sup>2</sup>クラブに第2学童を開設し対応しました。のびのびクラブ・すくすくクラブは、従事者数、会場の問題により待機児童が発生しました。

エ) 3月2日から3月31日まで、新型コロナウイルスのため小学校の臨時休校に伴い一日保育を行いました。

オ) 入所児童数

	みわっ子SUN <sup>2</sup> クラブ		のびのびクラブ		すくすくクラブ	
	4月	3月	4月	3月	4月	3月
1年	35	20	40	30	33	25
2年	22	14	23	18	14	12
3年	15	6	11	8	15	9
4年	14	4	7	4	6	2
5年	3	0	2	2	1	1
6年	1	0	1	1	0	0
合計	90	44	84	63	69	49

※最大待機児童数 のびのびクラブ 7人

すくすくクラブ 10人

※夏休みのみの受け入れ みわっ子 SUN<sup>2</sup>クラブ 1人

・ 9月末現在で待機児童は解消されました。

カ) 学童連絡会の開催

関係機関との連携と情報共有の場として、こども課、こども未来センター、



教育課、各小学校学童担当教諭が参加で実施しました。

	3学童合同	みわっ子 SUN <sup>2</sup> クラブ	のびのび クラブ	すくすく クラブ	合 計
開催回数	1	3	4	3	11

※3月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

キ) 各研修会の参加

放課後支援員が研修会に参加し、質の向上に努めました。

- ・9回の各種研修会に延べ23名が参加

※新型コロナウイルスの影響で1研修が中止

ク) 保護者会、役員会の開催

保護者の学童行事の実施等、連携に努めました。

- ・各学童で保護者会1回、役員会1回を実施し、保護者主催行事を実施

ケ) 安心メールの導入

保護者へ緊急時の情報伝達時間の短縮を目的に9月に導入し、緊急時に  
関わらず随時活用しています。

⑥ 障害者相談支援事業

ア) 指定特定相談支援事業

利用者の意思を尊重し、サービス等利用計画、モニタリング（計画の見直し）の作成を行いました。又、安心した日常生活が送れるように関係機関と連絡調整を行い、相談の充実を図りました。

サービス等利用計画（モニタリング含む） 44件

イ) 障がい相談日

月2回第1・第3金曜日の心配ごと相談日に合わせて開設し、障がい者（児）に限らず、障がいに関する多様な相談に障害者相談支援専門員が対応しました。

相談件数9件

ウ) 指定一般相談支援事業

障がいのある人が自立した生活を営むことができるように、情報提供の便宜や権利擁護のための必要な援助、市町村やサービス事業者との連絡調整を行いました。障害者総合支援法に基づき事業を推進しました。

精神 181件 ・ 知的 193件 ・ 身体 191件

障がい児 16件 ・ その他 8件 計 589件

⑦ 障害者支援区分認定調査

障がい福祉サービスの利用を希望する本人の心身の状態や生活状況を聞き取り必要性を調査し、調査票の作成を行いました。

認定調査 169 件

⑧ コミュニケーション支援事業

聴覚障がい者が自立した社会生活を営む為の情報を得る手段として手話通訳者の派遣を行いました。

利用登録者 12 人 手話通訳登録者 7 人 要約筆記登録者 15 人  
利用実績 54 件

⑨ 在宅介護者の支援

介護者のリフレッシュとよりよい介護につながるような情報交換の機会と、介護者に共感し理解しあえる集いの場づくりの支援を行いました。

そったく基金を活用し、年3回実施しました。

開催日	5月29日(水) 30日(木)	10月29日(火) 30日(水)	2月20日(木)
行先	佐賀県多久市	大分県日田市	菊池園
参加介護者数	25人	30人	13人

⑩ 生活福祉資金貸付事業

県社協の相談窓口として、低所得者、障がい者又は高齢者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長を図るための貸付相談を行っています。

- ・貸付相談 43 件 (内コロナ対応 4 件)
- ・貸付決定 5 件 (内コロナ対応 1 件)

⑪ 日常生活自立支援事業

10月1日から市町村委託に移行され、県社協からの受託事業として、認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理の支援を行いました。専門員を配置し、生活支援員と密に連携をとりながら支援に努めました。

- ・利用者 12 人

⑫ ボランティアセンター運営事業

地域住民を対象にしたボランティアの理解と活動の推進を行いました。また、ボランティア活動に参加しやすくなるような取り組みや、登録ボランティアの活動支援を行いました。

ア) 情報の発信

- ・センターだよりの発行（6・9・12月）
- ・ホームページの更新（随時）

イ) ボランティア依頼の対応および活動の提供

ボランティア活動依頼数	63件
ボランティア活動マッチング数	48件
ボランティア個人登録者数	36人
ボランティア登録団体数	17団体（210人）

ウ) 行政、生活支援コーディネーター、協議体との連携

エ) 児童・青少年事業と連携した福祉教育への取り組み

小学生向け福祉教育のボランティア啓発及び推進プログラム「知ってる？ボランティア活動のこと」の作成、実施

東小田小学校 10月17日（木）

三輪小学校 1月20日（月）

生涯学習課主催子ども育成塾 1月11日（土）・2月8日（土）

オ) ボランティアセンター運営委員会の実施 4月25日（木）・11月5日（火）

カ) 各種ボランティア講座の実施

- ・地域住民向けボランティア講座実施（参加者：64人） 6月22日
- ・高齢者生活支援ボランティア講座（受講者：14人） 7月24日～26日
- ・小・中学生のための手話体験講座（受講者：18人） 8月7日～9日
- ・大人のための手話体験講座（受講者：11人） 10月2日～11月20日
- ・視覚障がい者向けガイドボランティア講座（中止） 10月10日
- ・聞こえのサポーター講座（受講者：19人） 11月30日
- ・声のボランティア講座（中止） 3月7日

⑬ 生活支援コーディネーター事業

身近な地域での支え合いを推進するために、今年度から2人体制で活動を行いました。

- ・各地域で行われている公民館講座やシニアクラブの活動など、地域活動の把握に努めました。

シニアクラブ関係会議	37回
地域への取材	89回
- ・地域ケア会議や各区の見守りネットワーク会議などに参加し、地域課題の把握に努めました。

ケア会議等	29回
-------	-----
- ・県の生活支援コーディネーター連絡会などの県内の SC が集まる会議に出

席し、他地域の活動を知り、他地区の SC と意見交換を行いました。

研修等 9回

・地域の通いの場（居場所）づくりの支援を行いました。

対応、支援 29回

・地域活動の紹介や、各地区の通いの場紹介冊子作製を行いました。

### (3) 共同募金配分金事業

#### A. 高齢者福祉事業

##### ① サロン応援隊の育成（ふれあいいきいきサロン）

・レクリエーション講習会 5月30日（木）・6月13日（木）

参加者 計18人

・健康レクササイズ 9月7日（土）

参加者 13人

・ガンバルーンボール 9月28日（土）

参加者 14人

・毎月定例で勉強会を実施しています。

##### ② ひとり暮らし高齢者のつどい

外出により心身をリフレッシュし、参加した仲間と交流を深めることを目的に開催しました。

6月6日（木）・10日（月） 参加者総数 66人

福岡市（東長寺参拝・ホテルバイキング・市内車窓観光）

##### ③ 敬老の日祝事業

白寿と米寿を迎えられた方へ敬老のお祝い品を贈呈しました。

白寿 13人 米寿 161人

##### ④ 金婚お祝い事業

結婚50年を迎えた36組の申請されたご夫婦に、時計付きフォトスタンドを贈呈しました。

#### B. 障がい者福祉事業

##### ① 障がい者のつどい

障がい者同士の情報共有や交流、社会参加及び住民への障がい者理解の推進を目的に開催しました。

開催日 9月27日（金）

内容 筑前町身体障害者福祉協会、筑前町盲人会、  
筑前町聴覚障害者福祉部会の活動紹介、

夫婦漫才師 中山夫妻による講演 「笑顔で福がやってくる」

参加者 80人

② 重度障がい者の交流会

社会参加の機会と他者との交流を図りました。

開催日 10月15日(火)

行先 いのちのたび博物館

参加者 17人

③ 福祉用具の貸与 62件

④ 身体障害者福祉協会の活動支援

身体障害者福祉協会の自主的活動の助言と事務を支援しました。

C. 児童・青少年福祉事業

① 小学生の福祉教育の推進

各小学校区の地域性、学年に応じた福祉への理解と芽生えを目的に、福祉教育の推進に努めました。

ア) 福祉教育プログラム「知ってる?赤い羽根共同募金」を町内4小学校の内3校で実施しました。

イ) 他事業の担当と連携し、福祉教育プログラム「知ってる?ボランティア活動のこと」を完成させ、町内4小学校の内2校で実施しました。

ウ) 福祉教育教材「ともに生きる」の配布

三輪小学校 130冊

三並小学校 20冊

中牟田小学校 70冊

東小田小学校 87冊 合計 307冊

エ) 各小学校から福祉教育相談対応

各小学校で行いたい福祉教育関係の相談に臨機応変に対応し、小学校と連携し実施しました。

D. その他の福祉事業

① バス停の管理 バス停留所設置補助金交付申請 1件

バス停留所の点検、清掃、掃除道具の購入

② レクリエーション用具の貸与 28件

③ 地域住民が地域を住みよくするための活動支援 1件

④ ボランティア連絡協議会主催事業への支援

ボランティア連絡協議会が、主体的に運営ができるように側面から支援を行いました。

E. 福祉団体への配分及び支援

筑前町シニアクラブ連合会・筑前町身体障害者福祉協会・筑前町母子寡婦福祉会・筑前町遺族会・筑前町ボランティア連絡協議会・各小中学校福祉協力校・障がい者小規模作業所等に配分と支援をおこないました。

3. その他

(1) 社会福祉法人連絡会

① 社会福祉法人連絡会（施設長会）

町内7つの社会福祉法人で「筑前町社会福祉法人連絡会」を年に2～3回集まり、それぞれの法人がもっている特性を生かした社会貢献を研究しています。

- ・ 7月24日（水） サポーター部会活動報告  
地域貢献について ・ 7月大雨被害状況報告
- ・ 2月21日（金） サポーター部会活動報告  
情報交換

② サポーター部会

県内の社会福祉法人がネットワークを構築し、「みんなの暮らしを支える」活動として、福岡ライフレスキュー事業を推進しています。筑前町でも、ライフレスキューサポーター研修を終えたサポーターが、生活上の困りごとの解決に向けて取り組みました。

- ア) サポーター部会 会員人数 13人（令和2年3月31日現在）
- イ) サポーター部会実施回数（定例月1回） 10回
- ウ) 支援ケース 8件（内拠出金3件24,073円）
- エ) 支援活動回数及び延べ活動人数 22回 44人
- オ) リユース品援助  
2件（ベッド・洗濯機・電子レンジ・食器棚・冷蔵庫・食卓テーブル等）
- カ) セブニーイレブンジャパンからの商品寄贈  
1回目（寄贈日：5月31日（金） 内容：食品1箱 雑貨7箱 計8箱）  
2回目（寄贈日：10月18日（金） 内容：食品89箱 雑貨57箱  
計146箱）

キ) 活用方法 レスキュー、サポーターでの活用  
地域での居場所、自主サロン  
こども食堂  
筑前町こども未来センター  
町内社会福祉法人6団体 等

ク) 7月の豪雨による災害支援

8月1日(木) 1件対応 作業内容:泥だし、石灰散布 対応人数:6人

ケ) 連携機関 県保護課・福祉課・こども課・税務課・両筑地区社協  
済生会二日市病院・朝倉記念病院 等

## (2) まちづくり出前講座

- ① 介護予防のための軽運動 6回
- ② レクリエーション用具で遊ぼう 5回

## (3) 災害派遣

「令和元年8月九州北部豪雨」に伴う佐賀県内災害ボランティアセンター運営  
支援の職員派遣

・9月14日(土)から9月18日(水)まで

多久市災害ボランティアセンター運営応援